

平成 25 年 5 月 1 日

宮崎産業経営大学長
大村昌弘

高大連携センター設置並びに
社会科学分野における高大連携交流会についてのご案内

謹啓

陽春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は宮崎産業経営大学の運営に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

1. 高大連携センター設置及び社会科学における高大連携の必要性について

今回、宮崎産業経営大学では高大連携センターを設置いたしました。TPP 問題や景気・雇用の問題に見られますように日本を取り巻く内外の情勢は不透明化し流動化しており、このような時代にこそ社会科学的な「物の見方」や「筋道の立て方」を基にする社会科学の学問的重要性は一段と高まっております。そしてこのような社会学的アプローチは、大学生だけでなく高校生にとっても文科系、理科系志望の如何に関わらず重要な知的基盤となることには疑いがありません。

そこでその一環として平成 25 年度より表題の「高大連携センター」を設置いたしました。宮崎産業経営大学は宮崎県内で唯一の社会科学系大学として地域貢献に尽力してまいりましたが、今後は次世代の若者に対し高校生の段階から社会科学的な考え方を植えつけていくことにも力を注いでまいりたいと考えております。

2. 高大連携交流会の開催について

具体的には高校への出前授業、大学講義への聴講などの連携強化に努めてまいります。その際、高大連携センターを通して本学の取り組む社会科学教育について高校側からのご要望並びにご意見を賜りたく存じます。具体的には、例えば、大学側と高校側で交流会を開催させていただくことも考えられます。自由闊達な議論を頂きお互いに社会科学的な「物の見方」、「筋道の立て方」を深めることが可能となるからです。一案ですが、本年 3 月に私が執筆いたしました「気宇壮大に進化の先頭に立つ（脱・日本漂流）」は今の日本が直面している諸問題を取り上げ 8 つのテーマに即して論評と異論反論を掲載しており、交流会を行う際の格好の教材になるのではないかと考えております。

併せて、また宮崎産業経営大学の教員免許更新（商業、情報、地歴公民）講習のあり方についても忌憚のない意見交換を致したいと考えております。

3. 具体的方法

高校ごとに希望される事項を高大連携センターにお伝えください。また、希望によっては、交流会を開催したいと考えております。その場合には本学からは、学長、法学部長、経営学部長、教員養成センター長、高大連携センター長などが出席いたします。

* 連絡先

高大連携副センター長兼幹事 徳地慎二（経営学部）

E-mail: shinji.tokuchi@gmail.com 電話 09094054589

謹白